



作品カテゴリー：建築・土木

日本橋川常磐橋防災船着場

株式会社アロイ



選考理由

本物件は東京都において災害時に水上ネットワークを形成するために防災用の船着き場を整備するという目的で計画された栈橋の第一号工事であった。従来はポンツォー（浮栈橋）形式が一般的であるが、水深が比較的浅い日本橋川においては、より安価に整備できるステンレス製（SUS304、SUS316）の固定式栈橋が採用された。水位の干ばつに対応するため2段式になっており、水位が低い時間帯は低い栈橋を利用し、高い時間帯には高い栈橋を利用する構造となっている。

鋼床版構造のためリブ等の溶接長が非常に長く、ステンレス特有の縮み・歪みが問題になる構造物である上に、橋梁並の寸法精度が要求される構造物である。このため、溶接縮みや歪みを原寸時に考慮し、慎重に組立・溶接・歪み矯正といった一連の作業を行った。

今後の防災ネットワーク作りの計画上も本形式が都心部で採用される可能性も高く、十分な発展性があると思われる。

使用鋼種：SUS304、SUS316

使用量等：29,447kg

推薦会社：新日本製鐵株式会社